

4 水害の歴史と対策事業

昭和22年のカスリーン台風をはじめ、数年に1回は台風等による浸水被害にみまわれ、そのたび、浸水被害を軽減する事業を行い、再度災害発生の防止に努め、効果を発揮してきました。しかし、近年は毎年のように整備水準を超える規模の降雨による被害が発生しているため、未だ浸水被害は解消されておらず、緊急的かつ重点的な整備が必要な状況です。

